

中小企業の経営改革と それを支える改善技術の運用 ～ISO9001の実用化事例～

- 【日 時】 平成 29 年 9 月 26 日(火) 16 時 00 分～17 時 30 分
【会 場】 かわさき新産業創造センター(KBIC) 2 階大会議室
【講 師】 佐藤 幸雄 氏 技術士(経営工学部門)
【受 講 料】 無料
【定 員】 30 名(申込順)
【対 象 者】 経営者、管理者、実務担当者等
【申込方法】 FAX または E-mail(裏面参照)
【申込締切】 平成 29 年 9 月 25 日(月)

素晴らしい業績をあげている企業に共通することは、経営トップのリーダーシップのもと、「全員参加の改善活動」を活発に展開していることです。改善を現場に徹底させ、成果に結びつけるには、「あるべき姿」を明確にし、「率先垂範」で、それを拡大実行させることが肝要です。

本セミナーでは、講師が取り組んできた多くの中小企業活性化の支援事例を紹介いたします。5S の推進と TPM^(※1) を活用して、ISO9001 を効果的に実用化し、中小企業の力を引き出して経営体質を大幅に改革してきました。その改革を成功に導いた企業の事例を紹介いたします。合わせて、「改善手法の活用の仕方」についても説明いたします。

最後に、第三者審査認証にこだわらず、企業の独自性を発揮し、少ない費用で、ISO9001 を効果的に取り入れる「ISO9001 自己適合宣言」の実例を紹介する予定です。

(※1) TPM…Total Productive Maintenanceの略で、「生産部門のみならず全社をあげて、設備故障ロス、段取りロス、品質ロス、管理ロスなどのロス・ゼロに取り組む生産革新活動。

【内 容】

1. トップ企業を目指す改善の実行

- ◆顧客に最初に声を掛けてもらえるトップ企業
- ◆5Sの徹底
- ◆TPMの導入
- ◆ISO9001とTPMの融合活動

2. 「あるべき姿」の構築を目指す「ISO9001」の導入と改善の進め方

- ◆ISO9001と改善
- ◆改善の進め方

3. あるべき姿を追及する方針管理：

- ◆PDCAの推進
- ◆クレームゼロ・不良ゼロを目指して
- ◆生産効率の大幅向上

4. 改善の推進例

- ◆あるべき姿の明確化と改善のシステム化
- ◆企業のISO9001に対する取り組み姿勢
- ◆優良企業を「他力」として活用

5. 企業の独自性を発揮し、顧客満足度を目指す「自己適合宣言」

- ◆独自性を発揮し、低コストでISO9001の要求事項を体得・活用し、顧客に評価されるシステム



【資格】技術士（経営工学部門）、ISO9001 審査員補

【得意分野】ISO9001 の活用と経営改善、5S・TPM、生産管理システム

【自己PR】大学電気工学科卒業後、大手機械メーカーに就職。機械メーカーに電気技術を活用させるべく活動。各種生産技術、製造管理、工場の自動化、トヨタ生産方式、TPM、TQC、ロボット製造所長、子会社社長（2社）を歴任。中小企業大学校講師、中小企業の経営改善など、中小企業100社以上を支援。現在：（株）SGJ 社長、中小企業の経営改善・ISO9001 自己適合宣言支援。

（協）高津工友会副理事長、川崎市産業振興財団登録専門家。

NPO法人かわさき技術士センター

【申し込み方法】

E-mail またはFAX でお申込ください。

中小企業の経営改革とそれを支える改善技術の運用 ～ISO9001の実用化事例～ （9月26日開催） 参加申込書			
平成 年 月 日			
ふりがな 企業名		住 所	
役 職		ふりがな 氏 名	
連絡先	電 話		
	E-mail		

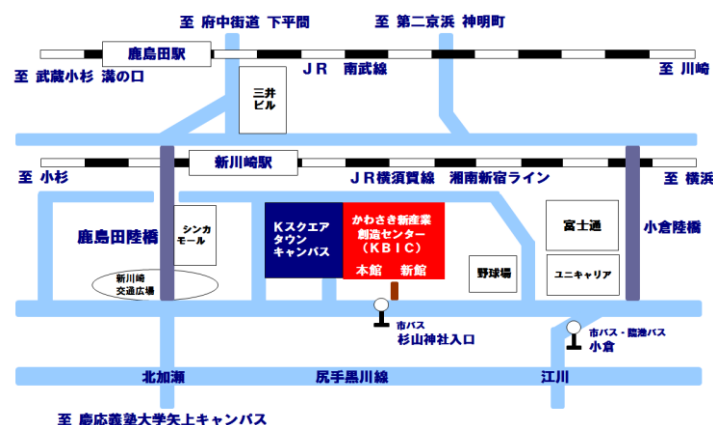
※ 必要事項をご記入の上、FAX（044-548-4146）もしくは、同内容をE-mail jinzai@kawasaki-net.ne.jp までお送りください。

※ FAX の場合は、参加申込書を切らずにこのまま送信してください。

※ 受講票は発行いたしません。当日、会場へ直接お越しください。

※ 定員超過によりご参加いただけない場合に限りご連絡いたします。

【会場案内図 かわさき新産業創造センター（住所：川崎市幸区新川崎 7-7）】



【お申込・お問合せ】

公益財団法人川崎市産業振興財団 担当：村田 Tel. 044-548-4141 Fax. 044-548-4146